



子供たちのために皆が出来る事: 群大病院小児科ディルーム様



各ドアのデザイン



既存ディルーム
及ぶ通路



今回、「子供たちのために皆が出来る事」に情熱をもって取り組まれた提案者皆様の熱意に答えられたことは、苦勞がありました。やりがいのある仕事でしたと、担当者は語ってくれました。

ディルームには、角を安全のために丸みを付けたテーブル・収納家具を製作し、チエア・ベンチなどはカラフルで楽しくなるような色調で統一しました。

各ドアには、子供たちの絵や、かつて教育学部の卒業生であり入院されていた「星野富弘」氏の絵をシートに転写して貼りました。

各通路には、アニマル柄のクロスを納入しており、貼り付けは教育学部の学生が担当されました。また、額には、やはり学生が製作した動物・風景を飾ってあります。

群大病院小児科病棟様にディルーム及び通路のリニューアル工事で家具・サイン等を納入させて頂きました。

病院には沢山の子供たちが治療のため入院しています。家族から離れている寂しさや不安を抱えていることでしょうか。少しでも既存のディルームや通路を子供たちのために楽しく過ごし易くしてあげたいと、医師・看護師・教育学部の教授や学生たちが中心となってアイデアを出し合いリニューアルを計画。そこで、私達フジコーとして出来るデザイン提案や家具の選定を通じて、アイデアを具現化していくというお手伝いさせて頂きました。

群大病院小児科病棟様にディルーム及び通路のリニューアル工事で家具・サイン等を納入させて頂きました。



各通路の木々や動物たち



子供達が「きりんさん」「ぶたさん」などとたどって歩けば楽しいですよ。大人もやさしい気持ちになれます。

通路は春・夏・秋・冬のテーマで壁紙を貼り分けています。まだまだ、沢山の木々や動物がいます。全てをお見せ出来なくて残念です。



ディルーム



編集後記



毎年、年度末にはお陰様で沢山の納入があります。次々と掲載して参りますのでどうぞ、よろしくお願いたします。

今回の群大病院の記事にもお名前が出ていますが、「星野富弘」氏はご存じの通り障害をお持ちながらも筆を口に啞えて沢山の絵を描いておられます。

みどり市の草木湖のほとりに美術館もあります。

平屋建てでデザイン性の高い建物です。

秋の紅葉時に私も一度訪れた事があります。

落ち着いた雰囲気の中で時間をかけて、絵の中に書かれている文章に共感したり感心したりしながら鑑賞してきました。

疲れたら、併設のカフェで草木湖の景色を眺め、のんびり過ごせます。

また、群馬には「富田美術館」をはじめ各地に公共・私設を問わず沢山の美術館や博物館があります。

今はタウン誌がいくつも発行されて様々な情報が載っていますし、各ホームページにも催し情報が載っていますのでぜひ、地元を知る・群馬を知るために一日美術館めぐりなどをしてみたいかがでしよう。

ちょっと一息・・・

